



七里小だより

1月号

さいたま市立七里小学校
令和8年1月9日

『令和8年、うま年のスタート！子どもたちの挑戦が始まります』
— 笑顔と希望に満ちた3学期を共に創りましょう —

さいたま市立七里小学校
校長 館 和 成

新しい年の幕が開きました。令和8年、うま年の到来です。保護者の皆様、地域の皆様には、旧年中より温かい御支援・御協力をいただき、心より感謝申し上げます。本年も、七里小学校は、子どもたちの笑顔と夢を輝かせるため、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

うま年は、昔から力強さや前進の象徴とされてきました。馬が広い草原を駆け抜ける姿は、勢いと希望にあふれています。今年は、そんな馬のように、子どもたちが元気いっぱいに学び、挑戦し、未来へ向かって駆け出す一年にしていきたいと思います。令和8年の始まりとともに、3学期は子どもたちにとって新しい挑戦の場です。

2学期の終業式の日、子どもたちに「冬休みの間に2学期の自分の取組を振り返って、学校での学習や生活で3学期に頑張りたいことを考えておいてくださいね」と話しました。3学期の始まりにあたり、各クラスで、冬休みの思い出や3学期の目標、めあてについてのお話があると思います。この年始のタイミングは、気持ちを新たに、何かを始めようと決心したり、「今年はこんなことができるようになりたい」「こんな年にしたい」と思いを馳せたりしながら、新しい一歩を踏み出すよい機会です。子どもたち一人ひとりが目標を立て、その実現に向けて、新たなチャレンジをしていってくれることを大いに期待しています。

3学期は、一年間のまとめと次の学年への準備をする大切な時期です。子どもたちは、学習面・生活面で自分自身の目標を立てることと思います。「計算をもっと速く正確に」「漢字を完璧に覚える」「友達に優しい言葉をかける」「時間を守って行動する」「整理整頓を習慣にする」など、こんな目標を掲げ、その達成に向けて努力していくことを期待しています。こうした目標に向かって挑戦する姿こそが、3学期の大きな成長の原動力になっていくでしょう。

3学期は短い期間ですが、その中で、達成感を積み重ねていくことが、次のステージへの自信につながります。小さな成功体験を一つ一つ積み重ねることで、子どもたちは「やればできる」という確かな手応えを感じます。授業での理解や発表、友達との協力、生活習慣の改善など、日々の努力が形になる瞬間を大切にしていきます。学校では、子どもたちが挑戦しやすい環境を整え、声を掛け、励ましながら、達成感を味わえる場面を数多くつくっていきます。失敗を恐れず、何度でも挑戦できる雰囲気を大切に、「できた!」「分かった!」という笑顔が教室いっぱいに広がる3学期にしていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、3学期も引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。令和8年も保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちの成長を支える一年にしていきたいと思います。御理解と御支援、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。